

平成26年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名		大分県		市町村類型	I－O		指定団体等の指定状況		区分		平成26年度(千円)	平成25年度(千円)	区分		平成26年度(千円・%)	平成25年度(千円・%)		
							財政健全化等		歳入総額		19,303,811	19,424,734	実質収支比率		5.1	7.4		
							財源超過		歳出総額		18,603,782	18,504,433	経常収支比率		92.1	89.1		
市町村名		杵築市		地方交付税種地	1-1		首都		歳入歳出差引		700,029	920,301	(※1)		(98.0)	(95.2)		
							近畿		翌年度に繰越すべき財源		155,057	119,411	標準財政規模		10,697,723	10,819,078		
							中部		実質収支		544,972	800,890	財政力指数		0.33	0.33		
人口		22年国調(人)	32,083 <th colspan="3" rowspan="3">産業構造 (※5)</th> <th colspan="2">過疎</th> <th colspan="2">単年度収支</th> <td>-255,918</td> <td>45,883</td> <th colspan="2">公債費負担比率</th> <td>18.9</td> <td>18.4</td>	産業構造 (※5)			過疎		単年度収支		-255,918	45,883	公債費負担比率		18.9	18.4		
		17年国調(人)	33,567 <th colspan="2">山振</th> <th colspan="2">積立金</th> <td>448,961</td> <td>436,383<th colspan="2">健全化判断比率</th><td></td><td></td></td>				山振		積立金		448,961	436,383 <th colspan="2">健全化判断比率</th> <td></td> <td></td>	健全化判断比率					
		増減率 (％)	-4.4 <th colspan="2">低開発</th> <th colspan="2">繰上償還金</th> <td>79,131</td> <td>-</td> <th colspan="2">実質赤字比率</th> <td>-</td> <td>-</td>				低開発		繰上償還金		79,131	-	実質赤字比率		-	-		
住民基本台帳人口		27.01.01(人)	30,966 <th rowspan="2">区分</th> <th>22年国調</th> <th>17年国調</th> <th colspan="2">指数表選定</th> <th colspan="2">積立金取崩し額</th> <td>318,984</td> <td>-</td> <th colspan="2">連結実質赤字比率</th> <td>-</td> <td>-</td>	区分	22年国調	17年国調	指数表選定		積立金取崩し額		318,984	-	連結実質赤字比率		-	-		
		うち日本人(人)	30,862 <th rowspan="2">第1次</th> <td>2,577</td> <td>3,285<th colspan="2"></th><th colspan="2">実質単年度収支</th><td>-46,810</td><td>482,266</td><th colspan="2">実質公債費比率</th><td>9.9</td><td>10.5</td></td>		第1次	2,577	3,285 <th colspan="2"></th> <th colspan="2">実質単年度収支</th> <td>-46,810</td> <td>482,266</td> <th colspan="2">実質公債費比率</th> <td>9.9</td> <td>10.5</td>			実質単年度収支		-46,810	482,266	実質公債費比率		9.9	10.5	
		26.01.01(人)	31,182 <th rowspan="2">第2次</th> <td>18.0</td> <td>20.6<th colspan="2"></th><th colspan="2">基準財政収入額</th><td>2,815,107</td><td>2,817,874</td><th colspan="2">将来負担比率</th><td>41.6</td><td>47.2</td></td>	第2次		18.0	20.6 <th colspan="2"></th> <th colspan="2">基準財政収入額</th> <td>2,815,107</td> <td>2,817,874</td> <th colspan="2">将来負担比率</th> <td>41.6</td> <td>47.2</td>			基準財政収入額		2,815,107	2,817,874	将来負担比率		41.6	47.2	
		うち日本人(人)	31,074 <th rowspan="2">第3次</th> <td>4,291</td> <td>4,207<th colspan="2"></th><th colspan="2">基準財政需要額</th><td>8,353,702</td><td>8,284,723</td><th colspan="2" rowspan="4">資金不足比率 (※4)</th><th colspan="2" rowspan="4"></th><th colspan="2" rowspan="4"></th></td>		第3次	4,291	4,207 <th colspan="2"></th> <th colspan="2">基準財政需要額</th> <td>8,353,702</td> <td>8,284,723</td> <th colspan="2" rowspan="4">資金不足比率 (※4)</th> <th colspan="2" rowspan="4"></th> <th colspan="2" rowspan="4"></th>			基準財政需要額		8,353,702	8,284,723	資金不足比率 (※4)				
		増減率 (％)	-0.7 <th rowspan="2"></th> <td>30.0</td> <td>26.4<th colspan="2"></th><th colspan="2">標準税収入額等</th><td>3,566,728</td><td>3,596,179</td></td>			30.0	26.4 <th colspan="2"></th> <th colspan="2">標準税収入額等</th> <td>3,566,728</td> <td>3,596,179</td>			標準税収入額等		3,566,728	3,596,179					
		うち日本人(%)	-0.7 <th rowspan="2"></th> <td>7,437</td> <td>8,383<th colspan="2"></th><th colspan="2">経常経費充当一般財源等</th><td>9,864,499</td><td>9,569,742</td></td>			7,437	8,383 <th colspan="2"></th> <th colspan="2">経常経費充当一般財源等</th> <td>9,864,499</td> <td>9,569,742</td>			経常経費充当一般財源等		9,864,499	9,569,742					
面積 (km ²)		280.06 <th colspan="2"></th> <td>52.0</td> <td>52.6<th colspan="2">歳入一般財源等</th><td>13,007,134</td><td>12,845,735</td></td>				52.0	52.6 <th colspan="2">歳入一般財源等</th> <td>13,007,134</td> <td>12,845,735</td>	歳入一般財源等		13,007,134	12,845,735							
人口密度 (人/km ²)		115 <th colspan="2"></th> <th colspan="2"></th> <th colspan="2"></th> <th colspan="2"></th> <td></td> <td></td> <th colspan="2"></th> <th colspan="2"></th>																
世帯数 (世帯)		12,181 <th colspan="2"></th> <th colspan="2"></th> <th colspan="2"></th> <th colspan="2"></th> <td></td> <td></td> <th colspan="2"></th> <th colspan="2"></th>																
職員の状況																		
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高		22,984,562	23,182,683						
	市区町村長	1	8,200 <th>一般職員</th> <td>278</td> <td>939,084</td> <td>3,378<th colspan="2">うち公的資金</th><td>14,442,210</td><td>14,668,355</td></td>		一般職員	278	939,084	3,378 <th colspan="2">うち公的資金</th> <td>14,442,210</td> <td>14,668,355</td>	うち公的資金		14,442,210	14,668,355						
	副市区町村長	1	6,550 <th>うち消防職員</th> <td>-</td> <td>-</td> <td>-<th colspan="2">債務負担行為額(支出予定額)</th><td>1,141,648</td><td>688,571</td></td>		うち消防職員	-	-	- <th colspan="2">債務負担行為額(支出予定額)</th> <td>1,141,648</td> <td>688,571</td>	債務負担行為額(支出予定額)		1,141,648	688,571						
	教育長	1	5,800 <th>うち技能労務職員</th> <td>7</td> <td>23,156</td> <td>3,308<th colspan="2">収益事業収入</th><td>-</td><td>-</td></td>		うち技能労務職員	7	23,156	3,308 <th colspan="2">収益事業収入</th> <td>-</td> <td>-</td>	収益事業収入		-	-						
	議会議長	1	4,100 <th>教育公務員</th> <td>15</td> <td>50,973</td> <td>3,398<th colspan="2">土地開発基金現在高</th><td>560,343</td><td>528,391</td></td>		教育公務員	15	50,973	3,398 <th colspan="2">土地開発基金現在高</th> <td>560,343</td> <td>528,391</td>	土地開発基金現在高		560,343	528,391						
	議会副議長	1	3,600 <th>臨時職員</th> <td>-</td> <td>-</td> <td>-<th rowspan="3">積立金現在高</th><th>財政調整基金</th><td>3,976,333</td><td>3,846,356</td></td>		臨時職員	-	-	- <th rowspan="3">積立金現在高</th> <th>財政調整基金</th> <td>3,976,333</td> <td>3,846,356</td>	積立金現在高	財政調整基金	3,976,333	3,846,356						
	議会議員	18	3,400 <th>合計</th> <td>293</td> <td>990,057</td> <td>3,379<th>減債基金</th><td>1,498,368</td><td>1,572,695</td></td>		合計	293	990,057	3,379 <th>減債基金</th> <td>1,498,368</td> <td>1,572,695</td>		減債基金	1,498,368	1,572,695						
					ラスパイレス指数		101.6 <th>その他特定目的基金</th> <td>4,329,841</td> <td>4,589,059</td>	その他特定目的基金		4,329,841	4,589,059							
一般会計等の一覧 項番		会計名	事業会計の一覧 項番		会計名	公営企業(法適)の一覧 項番		会計名	公営企業(法非適)の一覧 項番		会計名	関係する一部事務組合等一覧 項番		組合等名	地方公社・第三セクター等一覧 項番		団体名	(※3)
(1) 一般会計			(2) 国民健康保険特別会計			(6) 水道事業会計			(9) 簡易水道事業特別会計			(13) 杵築速見環境浄化組合			(23) 一般財団法人 杵築市総合振興センター			
			(3) 介護保険特別会計			(7) 工業用水道事業会計			(10) 農業集落排水事業特別会計			(14) 別杵速見地域広域市町村圏事務組合(一般会計)			(24) 公益社団法人 杵築市地域活性化センター			
			(4) 地域包括支援センター事業特別会計			(8) 山香病院事業会計			(11) 公共下水道事業特別会計			(15) 別杵速見地域広域市町村圏事務組合(秋草葬斎場事業特別会計)						
			(5) 後期高齢者医療特別会計						(12) 特定環境保全公共下水道事業特別会計			(16) 別杵速見地域広域市町村圏事務組合(藤ヶ谷清掃センター事業特別会計)						
												(17) 別杵速見地域広域市町村圏事務組合(介護認定審査会事業特別会計)						
												(18) 別杵速見地域広域市町村圏事務組合(普通会計)						
												(19) 杵築速見消防組合						
												(20) 大分県市町村会館管理組合						
												(21) 大分県後期高齢者医療広域連合(普通会計)						
												(22) 大分県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療事業特別会計)						

(注釈)※1：経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
※2：各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
※5：産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
※6：個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。

(1) 普通会計の状況（市町村）

歳入の状況（単位 千円・％）					地方税の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	2,908,411	15.1	2,908,411	28.9	普通税	2,907,188	100.0	18,590	
地方譲与税	214,273	1.1	214,273	2.1	法定普通税	2,907,188	100.0	18,590	
利子割交付金	4,749	0.0	4,749	0.0	市町村民税	1,085,387	37.3	18,590	
配当割交付金	11,533	0.1	11,533	0.1	個人均等割	43,095	1.5	-	
株式等譲渡所得割交付金	8,362	0.0	8,362	0.1	所得割	858,780	29.5	-	
地方消費税交付金	369,096	1.9	369,096	3.7	法人均等割	70,247	2.4	-	
ゴルフ場利用税交付金	20,061	0.1	20,061	0.2	法人税割	113,265	3.9	18,590	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	1,536,979	52.8	-	
自動車取得税交付金	19,778	0.1	19,778	0.2	うち純固定資産税	1,535,412	52.8	-	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	86,649	3.0	-	
地方特例交付金	9,123	0.0	9,123	0.1	市町村たばこ税	198,173	6.8	-	
地方交付税	7,118,607	36.9	6,482,705	64.4	鉱産税	-	-	-	
普通交付税	6,482,705	33.6	6,482,705	64.4	特別土地保有税	-	-	-	
特別交付税	635,901	3.3	-	-	法定外普通税	-	-	-	
震災復興特別交付税	1	0.0	-	-	目的税	1,223	0.0	-	
（一般財源計）	10,683,993	55.3	10,048,091	99.8	法定目的税	1,223	0.0	-	
交通安全対策特別交付金	3,632	0.0	3,632	0.0	入湯税	1,223	0.0	-	
分担金・負担金	175,656	0.9	-	-	事業所税	-	-	-	
使用料	441,062	2.3	10,605	0.1	都市計画税	-	-	-	
手数料	36,275	0.2	-	-	水利地益税等	-	-	-	
国庫支出金	2,480,542	12.9	-	-	法定外目的税	-	-	-	
国有提供交付金（特別区財調交付金）	515	0.0	515	0.0	旧法による税	-	-	-	
都道府県支出金	1,391,603	7.2	-	-	合計	2,908,411	100.0	18,590	
財産収入	92,696	0.5	-	-	区分				
寄附金	11,085	0.1	-	-	徴収率		平成26年度	平成25年度	
繰入金	844,453	4.4	-	-	現・計 年	合計	96.7	85.6	
繰越金	920,301	4.8	-	-		市町村民税	96.5	87.4	
諸収入	194,408	1.0	928	0.0		純固定資産税	96.5	82.8	
地方債	2,027,590	10.5	-	-	区分				
うち減収補填債（特例分）	-	-	-	-	公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況		
うち臨時財政対策債	648,290	3.4	-	-	合計	2,365,324	実質収支	80,368	
歳入合計	19,303,811	100.0	10,063,771	100.0	下水道	463,788	再差引収支	-64,561	
					病院	210,865	加入世帯数（世帯）	4,855	
					簡易水道	68,000	被保険者数（人）	8,315	
					上水道	2,630	被保険者	82	
					国民健康保険	369,146	1人当り	129	
					その他	1,250,895	保険給付費	344	

（注釈）

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況（単位 千円・％）					
目的別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額（A）	構成比	（A）のうち普通建設事業費	（A）のうち充当一般財源等	
議会費	188,976	1.0	-	188,976	
総務費	2,558,244	13.8	138,228	1,983,473	
民生費	5,444,833	29.3	149,549	2,704,570	
衛生費	1,151,699	6.2	53,367	1,011,878	
労働費	22,403	0.1	-	1,227	
農林水産業費	1,037,533	5.6	263,325	634,618	
商工費	337,842	1.8	133,274	120,721	
土木費	1,396,129	7.5	726,126	756,214	
消防費	1,051,801	5.7	456,432	550,359	
教育費	2,443,938	13.1	999,906	1,546,314	
災害復旧費	188,240	1.0	-	62,216	
公債費	2,491,241	13.4	-	2,455,636	
諸支出費	290,903	1.6	290,903	290,903	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	18,603,782	100.0	3,211,110	12,307,105	

性質別歳出の状況（単位 千円・％）						
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率	
義務的経費計	8,161,669	43.9	5,705,584	5,621,514	52.5	
人件費	2,553,351	13.7	2,404,361	2,400,195	22.4	
うち職員給	1,712,399	9.2	1,587,193	-	-	
扶助費	3,117,077	16.8	845,587	844,814	7.9	
公債費	2,491,241	13.4	2,455,636	2,376,505	22.2	
内 元利償還金	2,491,241	13.4	2,455,636	2,376,505	22.2	
	うち元金	2,225,711	12.0	2,194,252	2,115,121	19.7
	うち利子	265,530	1.4	261,384	261,384	2.4
	一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	7,042,763	37.9	5,518,497	4,242,985	39.6	
物件費	2,466,713	13.3	1,715,153	1,561,637	14.6	
維持補修費	98,454	0.5	50,378	46,956	0.4	
補助費等	1,612,674	8.7	1,205,817	972,270	9.1	
うち一部事務組合負担金	628,886	3.4	628,886	560,622	5.2	
繰出金	2,151,829	11.6	1,922,846	1,625,590	15.2	
積立金	638,770	3.4	587,781	-	-	
投資・出資金・貸付金	74,323	0.4	36,532	36,532	0.3	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-	
投資的経費計	3,399,350	18.3	1,083,024	-	-	
うち人件費	40,905	0.2	36,251	-	-	
内 普通建設事業費	3,211,110	17.3	1,020,808	-	-	
	うち補助	1,455,330	7.8	123,990	-	-
	うち単独	1,640,545	8.8	861,796	-	-
	災害復旧事業費	188,240	1.0	62,216	-	-
	失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	18,603,782	100.0	12,307,105	-	-	

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	19,308	18,608	700	545	844	22,985	基食から842百万円繰入
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
計 一般会計等(純計)	19,308	18,608	700	545		22,985	実質赤字額

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 繰入見込額	資金不足 比率	備考
1 国民健康保険特別会計	4,182	4,102	80	80	356	-	-	-	- 繰入金から50百万円繰入
2 介護保険特別会計	3,714	3,617	97	94	497	-	-	-	- 繰入金から14百万円繰入
3 地域包括支援センター事業特別会計	37	37	-	-	17	-	-	-	-
4 後期高齢者医療特別会計	367	366	0	0	145	-	-	-	-
5 水道事業会計	384	339	45	343	3	872	3	-	- 法適用企業
6 工業用水道事業会計	23	17	6	20	-	178	-	-	- 法適用企業
7 山香病院事業会計	2,378	3,211	▲ 833	1,047	211	1,045	657	-	- 法適用企業
8 簡易水道事業特別会計	264	263	1	1	68	883	542	-	- 法非適用企業
9 農業集落排水事業特別会計	190	190	-	-	129	1,507	1,452	-	- 法非適用企業
10 公共下水道事業特別会計	622	615	7	-	241	4,128	3,604	-	- 法非適用企業
11 特定環境保全公共下水道事業特別会計	302	302	-	-	94	1,668	1,263	-	- 法非適用企業
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									
計 公営企業会計等				1,585		10,281	7,521		連結実質赤字額

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 負担見込額	備考
1 杵築速見環境浄化組合	199	192	7	7	-	414	-	
2 別荘速見地域広域市町村圏事務組合(一般会計)	441	441	-	-	1	-	-	基金から101百万円繰入
3 別荘速見地域広域市町村圏事務組合(社草部整備事業特別会計)	85	85	-	-	73	-	-	
4 別荘速見地域広域市町村圏事務組合(郷・谷津緑センター事業特別会計)	1,520	1,508	12	-	630	5,316	367	基金から300百万円繰入
5 別荘速見地域広域市町村圏事務組合(介護認定審査会事業特別会計)	28	28	-	-	28	-	-	
6 別荘速見地域広域市町村圏事務組合(普通会計)	1,644	1,632	12	-	301	5,316	-	基金から391百万円繰入
7 杵築速見消防組合	1,399	1,359	40	40	79	569	318	基金から199百万円繰入
8 大分県市町村会館管理組合	60	51	9	9	-	-	-	
9 大分県後期高齢者医療広域連合(普通会計)	225	127	98	98	25	-	-	基金から249百万円繰入
10 大分県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療事業特別会計)	183,426	174,316	9,110	9,110	1,195	-	-	基金から1,195百万円繰入
11 大分県交通災害共済組合(交通災害共済事業会計)	33	33	0	0	1	-	-	基金から10百万円繰入
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
計 一部事務組合等				9,266		6,298	685	

公債費負担の状況

実質公債費比率 (千円・%)					
区分		平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比
元利償還金		2,514,317	2,405,303	2,412,110	27.9
減債基金積立不足算定額		-	-	-	-
進 入 元 利 償 還 金	満期一括償還地方債に係る年度割当額	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金口に対する繰入金	482,253	479,144	458,447	5.3
	組合等が起した地方債の元利償還金に対する負担金等	8,898	6,862	12,306	0.1
	債務負担行為に基づく支出額(公債費に準ずるもの)	1,593	1,210	982	0.0
	一時借入金の利息	-	-	-	-
合計 (A)		3,007,061	2,892,519	2,883,845	
内訳		平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比
債 務 負 担 行 為	PF事業に係るもの	-	-	-	-
	いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	-
	国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	-
	地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-
	社会福祉法人の施設建設費に係るもの	-	-	-	-
	損失補償・債務保証の履行に係るもの	1,593	1,210	982	0.0
	引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-
	その他上記に準ずるもの	-	-	-	-
	利子補給に係るもの	-	-	-	-
特定財源の額 (B)	49,368	41,189	35,605		
標準財政規模 (C)	10,910,113	10,819,078	10,697,723		
算入公債費等の額 (D)	2,010,349	1,975,555	2,056,778		
(C)-(D)	8,899,764	8,843,523	8,640,945		
実質公債費比率 ((A)-(B)+(D)) / ((C)-(D)) × 100 (3ヵ年平均)	(単年度)	10.6	9.9	9.2	
		10.7	10.5	9.9	

将来負担の状況

					将来負担比率
区分		平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比
将来負担額	一般会計等に係る地方債の現在高	23,007,234	23,182,683	22,984,562	266.0
	債務負担行為に基づく支出予算額	-	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額	7,581,507	7,669,882	7,522,330	87.1
	組合等負担等見込額	337,320	551,891	684,779	7.9
	退職手当負担見込額	2,786,615	2,908,104	2,784,349	32.2
	設立法人等の負債額等負担見込額	387,608	36,040	982	0.0
	連結実質赤字額	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-
	合計 (E)	34,100,284	34,348,600	33,977,002	
充当可能財源等	充当可能基金	7,588,196	7,869,468	7,871,420	91.1
	充当可能特定繰入	176,222	154,298	117,294	1.4
	基準財政需要額算入見込額	21,509,617	22,145,328	22,387,733	259.1
	合計 (F)	29,274,035	30,169,094	30,376,447	
将来負担比率((E)-(F))／((C)-(D))×100		54.2	47.2	41.6	

健全化判断比率	平成26年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-	13.22	20.00
連結実質赤字比率	-	18.22	30.00
実質公債費比率	9.9	25.0	35.0
将来負担比率	41.6	350.0	

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名		経常損益	純資産又は 正味財産	当該団体 からの 出資金	当該団体 からの 補助金	当該団体 からの 貸付金	当該団体からの 債務保証に係る 債務残高	当該団体からの 損失補償に係る 債務残高	一般会計等 負担見込額	備考
1	一般財団法人 杵築市総合振興センター	▲ 1	9	3	-	-	-	-	-	
2	公益社団法人 杵築市地域活性化センター	11	195	18	9	-	-	-	-	
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										
36										
37										
38										
39										
40										
41										
42										
43										
44										
45										
46										
47										
48										
49										
50										
51										
52										
53										
54										
55										
56										
57										
58										
59										
60										
61										
62										
63										
64										
65										
66										
67										
68										
69										
70										
71										
72										
73										
74										
75										
76										
77										
78										
79										
80										
81										
82										
計 地方公社・第三セクター等				21	9	-	-	-	-	

※地方公共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人を記載している。

※地方公共団体財政健全化法に基づき将来負担比率の算定対象となっている法人については、○印を付与している。

(3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人	口	30,966	人(H27.1.1現在)	実	質	赤	字	比	率	-	%
う	ち	日	本	人	30,862	人(H27.1.1現在)	連	結	実	-	%
面	積	280.06	km ²	実	質	公	債	費	比	9.9	%
歳	入	総	額	19,303,811	千円	将	来	負	担	41.6	%
歳	出	総	額	18,603,782	千円	市	町	村	類		
実	質	収	支	544,972	千円	(	年	度	毎	H22	I-O
標	準	財	政	規	模	10,697,723	千円			H25	I-O
地	方	債	現	在	高	22,984,562	千円			H26	I-O

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

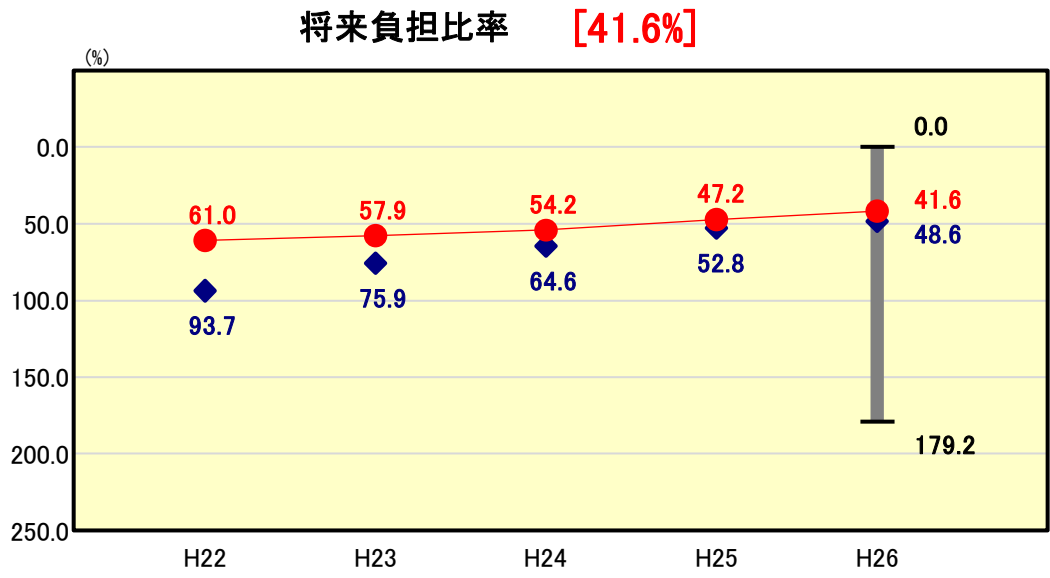
※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。

※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。



将来負担の状況

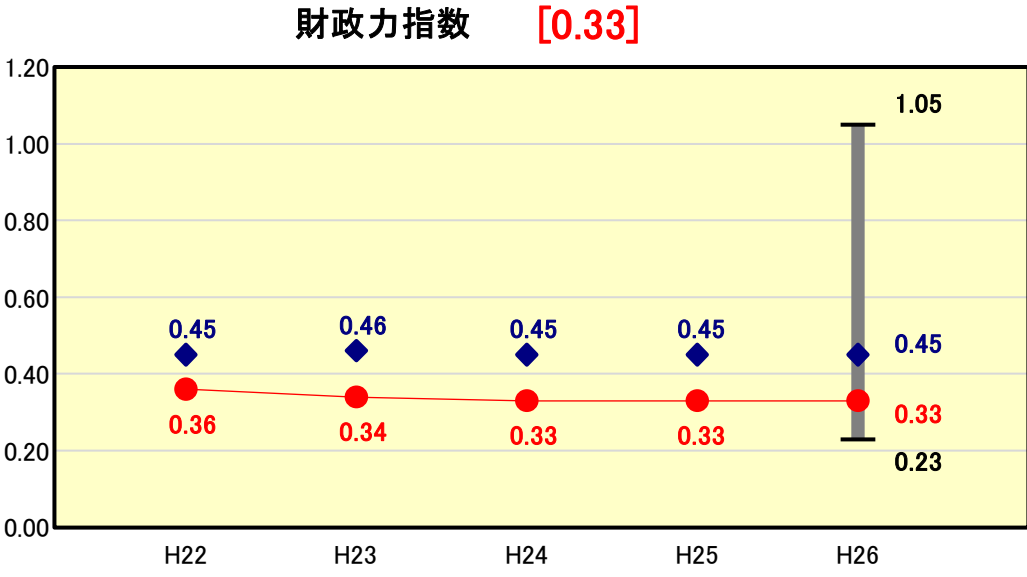


類似団体内順位 26/62
全国平均 45.8
大分県平均 16.3

将来負担比率の分析欄

前年度より5.6ポイント改善した。これは新たな地方債の発行額が少なかったことによる地方債現在高の減少、年齢構成の変化により上位給の職員が前年度の算定時に比べて減少したことによる退職手当負担見込額の減、さらには杵築市土地開発公社の解散より第三セクターなどの負債負担見込額が減少したことによる。今後も事業実施の適正化を図り、財政の健全化を図る。

財政力



類似団体内順位 45/62
全国平均 0.49
大分県平均 0.39

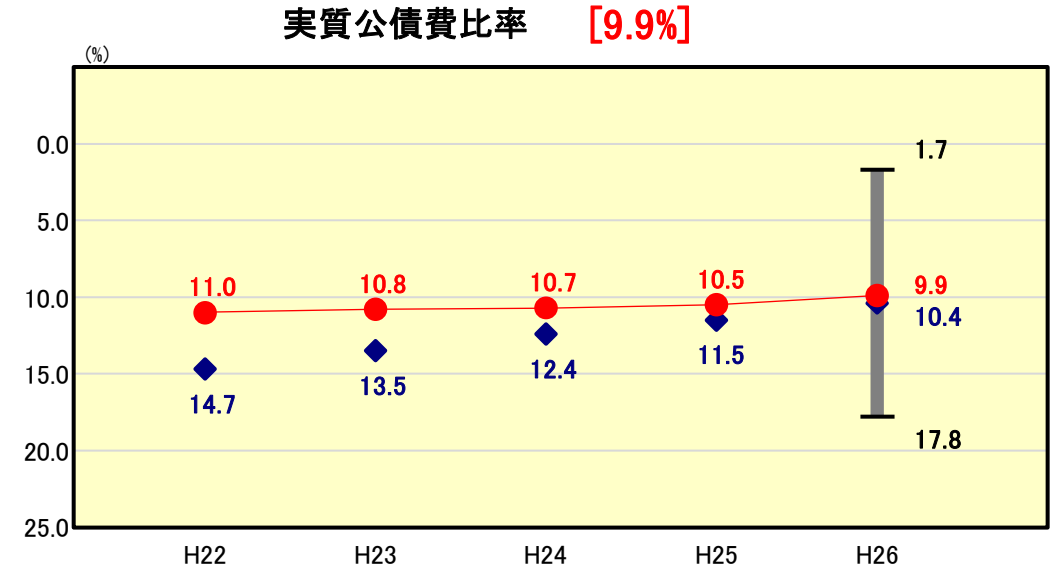
財政力指数の分析欄

前年度と数値は横ばいになっているものの、類似団体内平均値を0.12ポイント下回っている。

税収入は固定資産税が、企業の設備投資や太陽光発電設備の設置等により72,252千円の増となったが、市県民税が29,519千円の減、法人住民税が13,264千円の減となった。

本市の産業構造や地価の動向からすると大幅な増加は見込めないため、徴収強化等による税収増加に努める。

公債費負担の状況



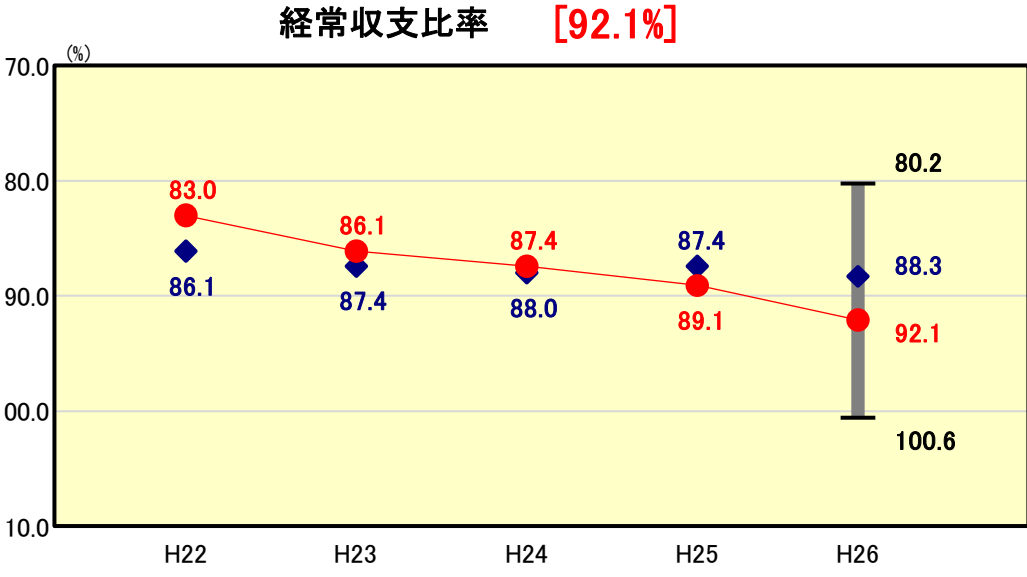
類似団体内順位 27/62
全国平均 8.0
大分県平均 7.3

実質公債費比率の分析欄

前年度より0.6ポイントの改善になった。公営企業債の償還財源に充てた一般財源が減少したことやH23の単年度実質公債費比率11.0%が3か年平均から外れたことにより、9.9%となった。

今後も公債費負担の中長期的な平準化の観点から、事業の取捨選択により、地方債の発行額を抑え、実質公債費比率の上昇を抑える。

財政構造の弾力性



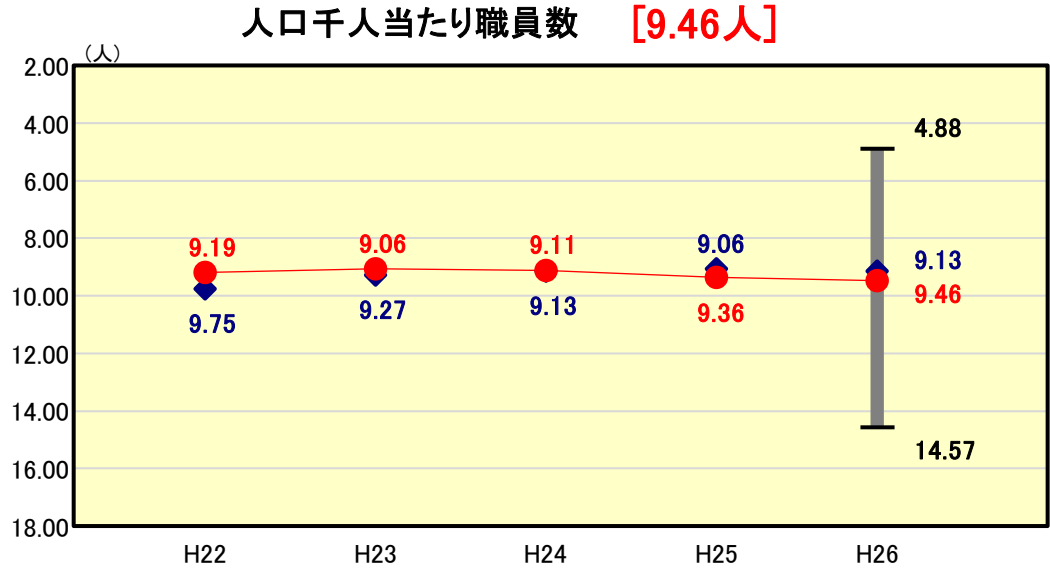
類似団体内順位 48/62
全国平均 91.3
大分県平均 92.3

経常収支比率の分析欄

前年度89.1%から3.0ポイントの増となった。歳入経常一般財源は交付税が55,524千円の減などにより、27,508千円の減となった。歳出経常一般財源は294,757千円的大幅増となった。これは生活保護費の伸びがあったにもかかわらず国庫支出金が減額となったことなどから扶助費で154,591千円、学校ICT関連備品の充実などによる物件費で130,351千円が増額したことによるものである。

今後も社会保障経費の増大などによる厳しい財政運営を求められる中で行政ニーズに柔軟に対応できる行政基盤の構築が必要である。

定員管理の状況



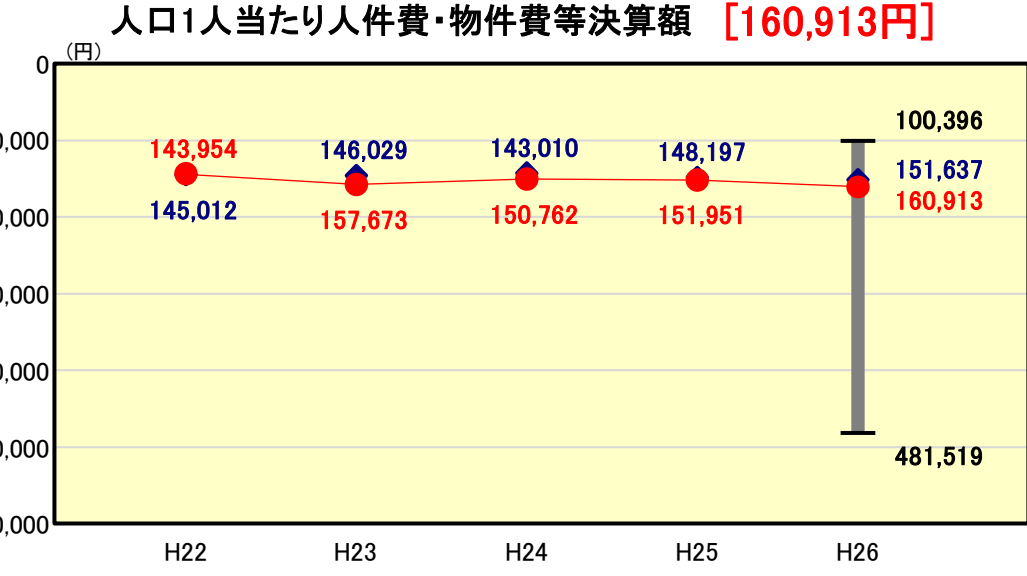
類似団体内順位 35/62
全国平均 6.96
大分県平均 8.23

人口千人当たり職員数の分析欄

前年度に比較して0.1ポイントの上昇、類似団体内平均値と比較して0.33ポイント高い状況となった。これは分母となる人口が減少したことによる。

行政ニーズを的確に応える体制を確保しながら、効率的な組織の実現をめざすことにより、職員数の適正化に努める。

人件費・物件費等の状況



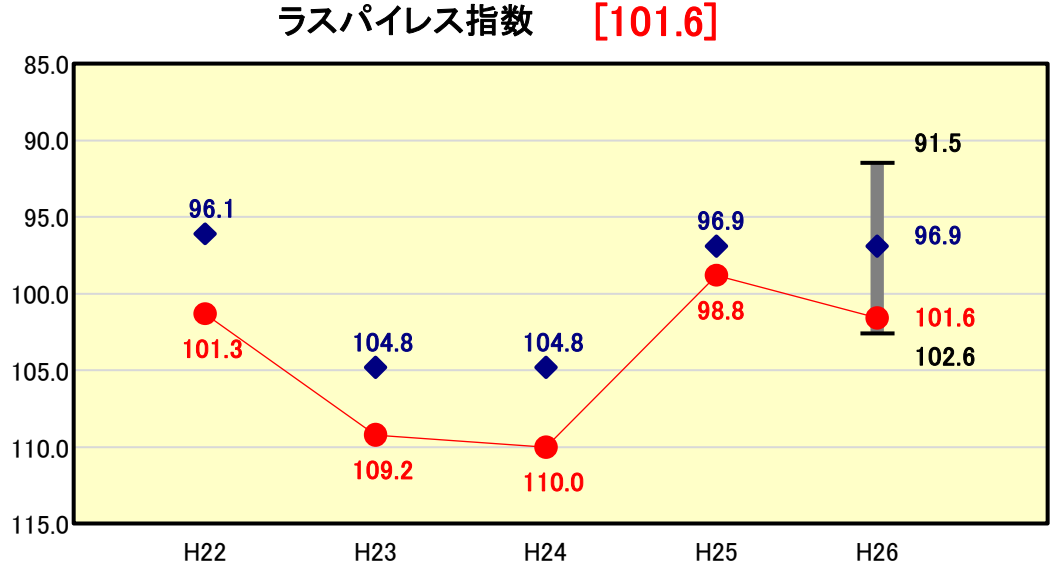
類似団体内順位 42/62
全国平均 119,984
大分県平均 127,111

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

人件費は29,275千円の減となったが、物件費では164,725千円の増となった。物件費の伸びは業務の外部委託、電気料金や燃油の高騰が影響しているほか、消費税率の変更によるものが大きな要因である。また、分母である人口の減少も要因のひとつとなっている。

今後も、業務効率化に伴う物件費の増加が見込まれるので、施設管理経費の見直し等を行うことにより、物件費の節減に努める。

給与水準（国との比較）



類似団体内順位 61/62
全国市平均 98.7
全国町村平均 95.8

ラスパイレス指数の分析欄

平成25年度でラスパイレス指数が98.8になったのは、平成24年度から実施されていた給与改定・臨時特例法による国家公務員の給与削減措置（平均7.8%の減額）が平成25年度末で終了し、当市が特例減額措置を実施していたことが主な要因である。平成26年度には当市の特例減額措置が終了したため、数値が上昇した。

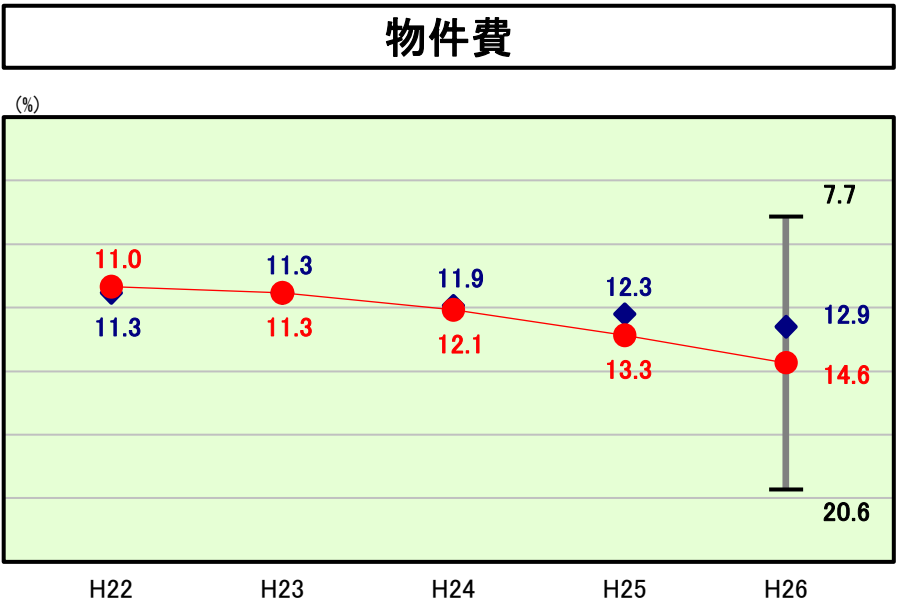
今後も給与制度の見直し等により給与水準の適正化に努める。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

経常収支比率の分析

人口	30,966	人(H27.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	30,862	人(H27.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	280.06	km ²	実質公債費比率	9.9	%
歳入総額	19,303,811	千円	将来負担比率	41.6	%
歳出総額	18,603,782	千円	市町村類型	H22 I-O H23 I-O H24 I-O	
実質収支	544,972	千円	(年度毎)	H25 I-O H26 I-O	
標準財政規模	10,697,723	千円			

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



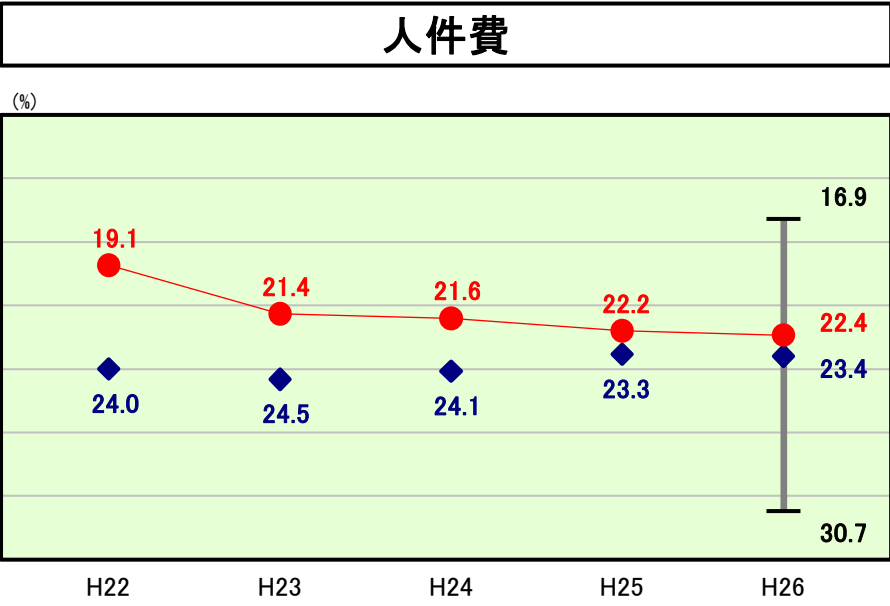
類似団体内順位
43/62

全国平均
14.3

大分県平均
13.3

物件費の分析欄

前年度より1.3ポイント増加している。物件費は164,725千円増加しており、類似団体内平均値と比較して、1.7ポイント上回っている。業務の外部委託や図書館図書整備等の事業実施に伴う増加によるものであるため、今後もこの傾向は続くものと思われる。



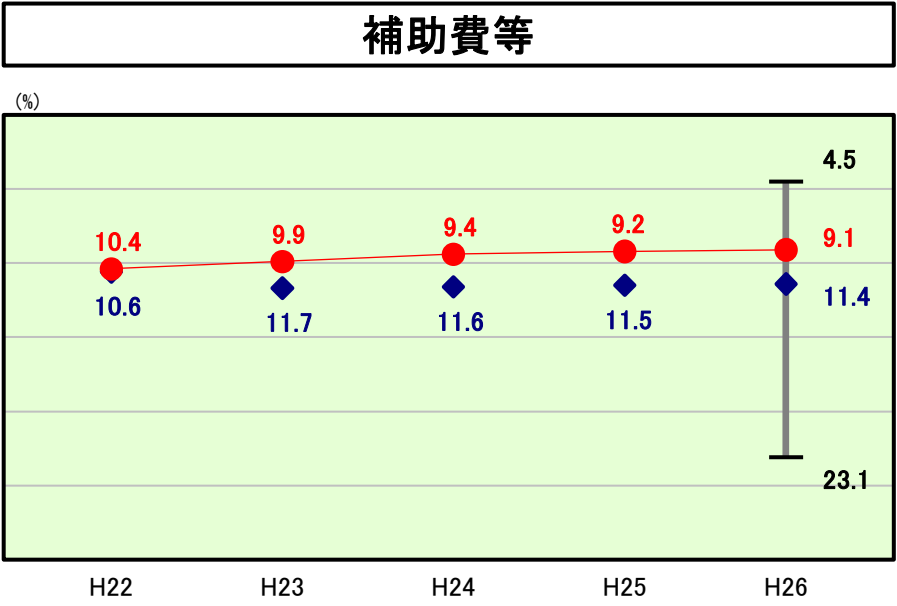
類似団体内順位
27/62

全国平均
23.8

大分県平均
27.6

人件費の分析欄

前年度より0.2ポイント増加し、類似団体内平均値との差は1.0ポイントに縮小した。人件費全体は29,275千円の減となっているが、そのうち退職手当が111,658千円の減となっている。今後も事務事業の整理、職員の適正配置、給与制度の見直しに努め、人件費の削減を図る。



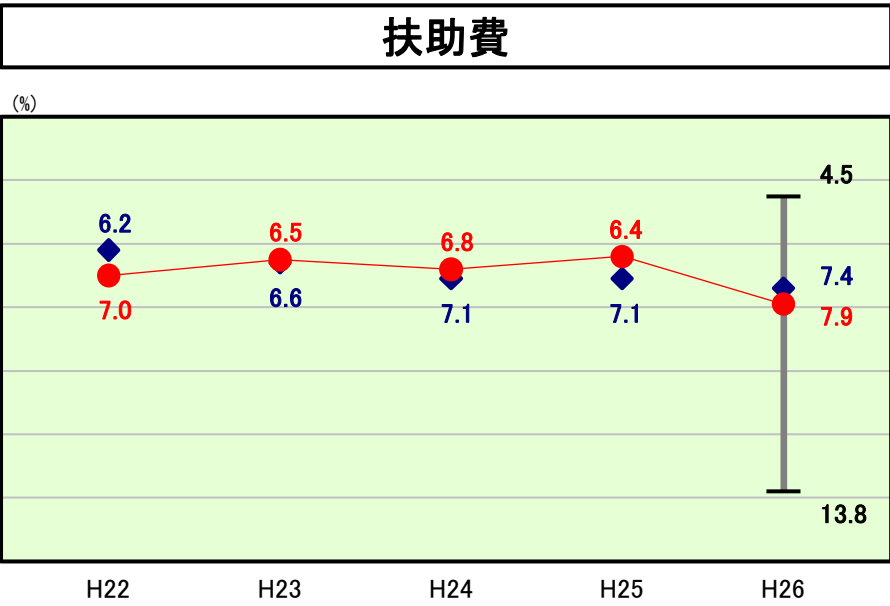
類似団体内順位
21/62

全国平均
10.1

大分県平均
5.7

補助費等の分析欄

補助費等は前年度より7,914千円の減、0.1ポイント減少している。類似団体内平均値との比較でも2.3ポイント下回っている。一方で、まだ大分県平均より高いため改善の余地はあると考えられるので、市単独補助等の見直しを図っていく。



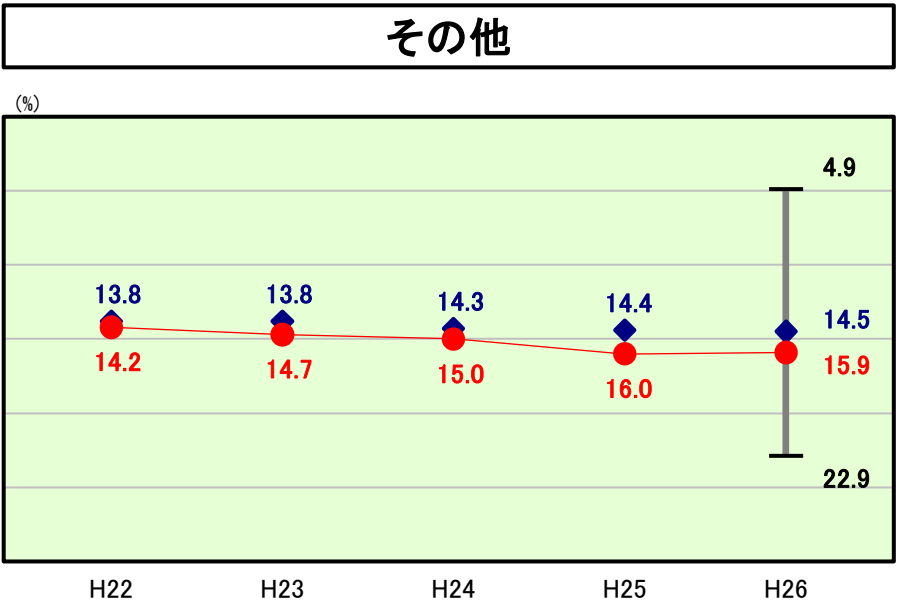
類似団体内順位
44/62

全国平均
11.7

大分県平均
11.0

扶助費の分析欄

扶助費は251,912千円の増で前年度より1.5ポイント増加している。増加の要因としては生活保護費の増加や臨時福祉給付金支給事業の実施等が挙げられる。削減が難しい費目であるが、市町村独自の事業も含め、適切な施策を実施し、財政負担の軽減に努める。



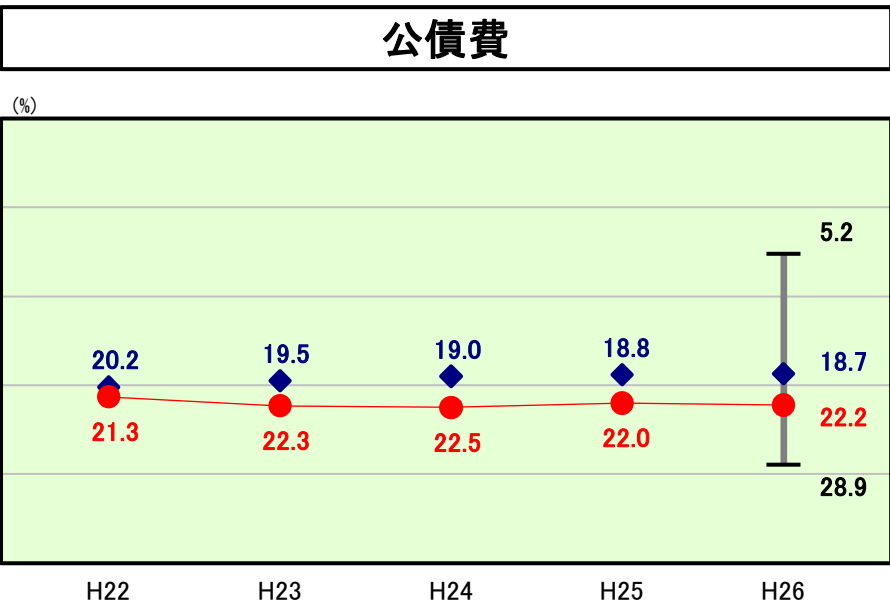
類似団体内順位
40/62

全国平均
13.2

大分県平均
14.3

その他の分析欄

前年度より0.1ポイント減少しているが、類似団体内平均値との差は1.4ポイントある。中でも繰出金の比率の高さが目立ち、特に国民健康保険事業の財政状態の悪化に伴い、赤字補てん的な繰出金が多額になっていることが大きな要因として挙げられる。今後は、予防への取組みや保険税徴収率向上等により普通会計の負担額を減らしていくよう努める。



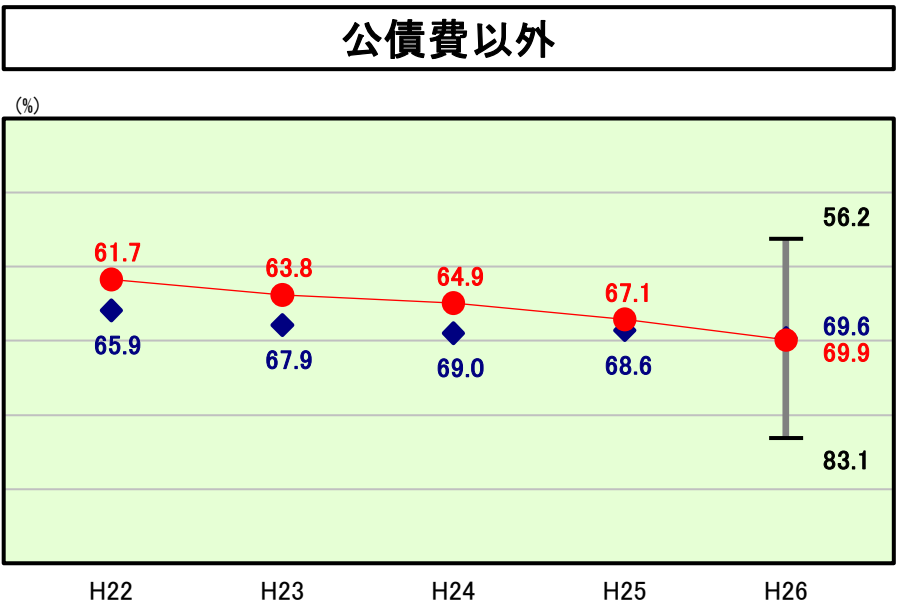
類似団体内順位
52/62

全国平均
18.2

大分県平均
20.4

公債費の分析欄

臨時財政対策債や合併特例債の発行が増え、前年度より0.2ポイント増加している。今後も中学校や図書館建設などの教育施設整備で多額の起債が予定されており、新規の起債対象事業については、実施時期や規模を十分に検討し、対応していく必要がある。



類似団体内順位
29/62

全国平均
73.1

大分県平均
71.9

公債費以外の分析欄

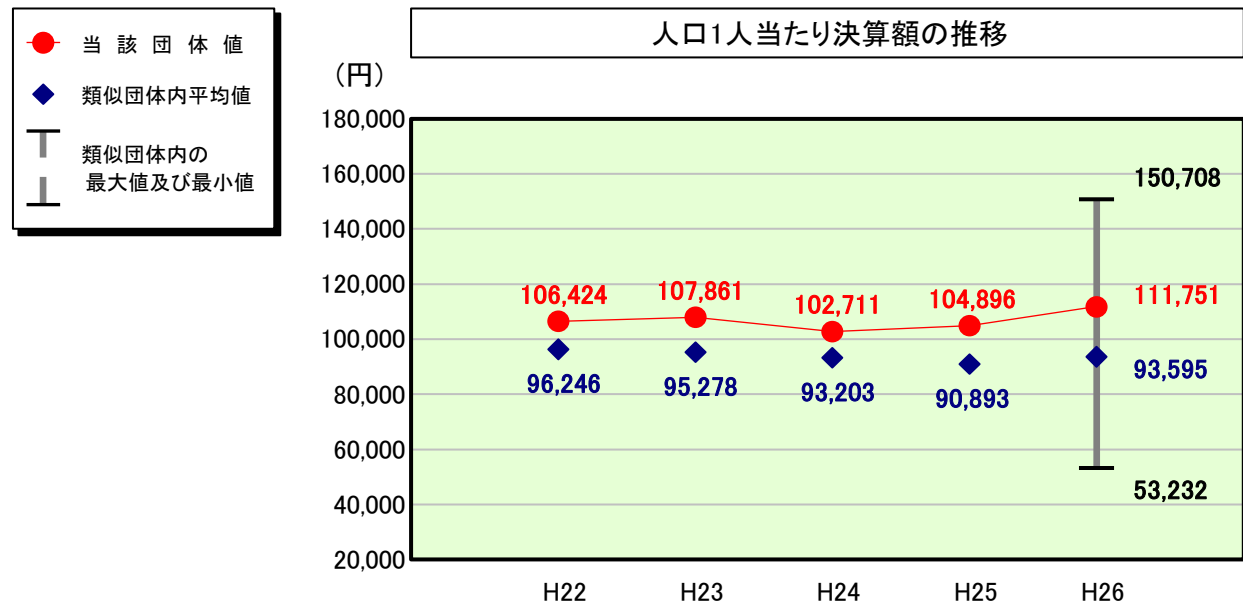
前年度より2.8ポイント増加し、類似団体平均値を0.3ポイント上回ったが、これは扶助費・物件費が増加したことによるものである。しかしながら、扶助費は社会保障の観点等から今後も増加するものと思われ、物件費も図書館建設や業務の外部委託などのため増加することが見込まれる。今後はさらなる分析を行い、人件費や補助費等に着目し、事務事業の総点検を進める必要がある。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成26年度

大分県杵築市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



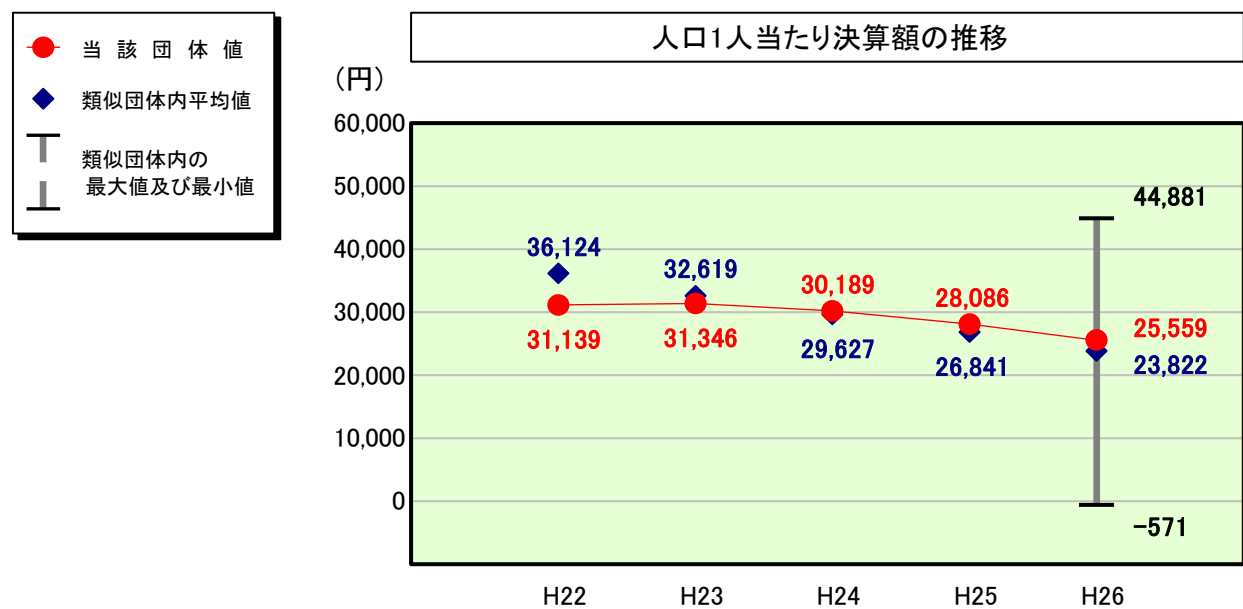
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	2,553,351	82,457	80,825	2.0
賃金 (物件費)	373,974	12,077	6,342	90.4
一部事務組合負担金 (補助費等)	365,172	11,793	8,139	44.9
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	118,733	3,834	1,344	185.3
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	184,916	5,972	3,637	64.2
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	40,905	1,321	1,906	▲ 30.7
▲退職金	▲ 176,576	▲ 5,702	▲ 8,599	▲ 33.7
合計	3,460,475	111,751	93,595	19.4

参考

	当該団体	類似団体平均	対比 (差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	9.46	9.13	0.33
ラスパイレス指数	101.6	96.9	4.7

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

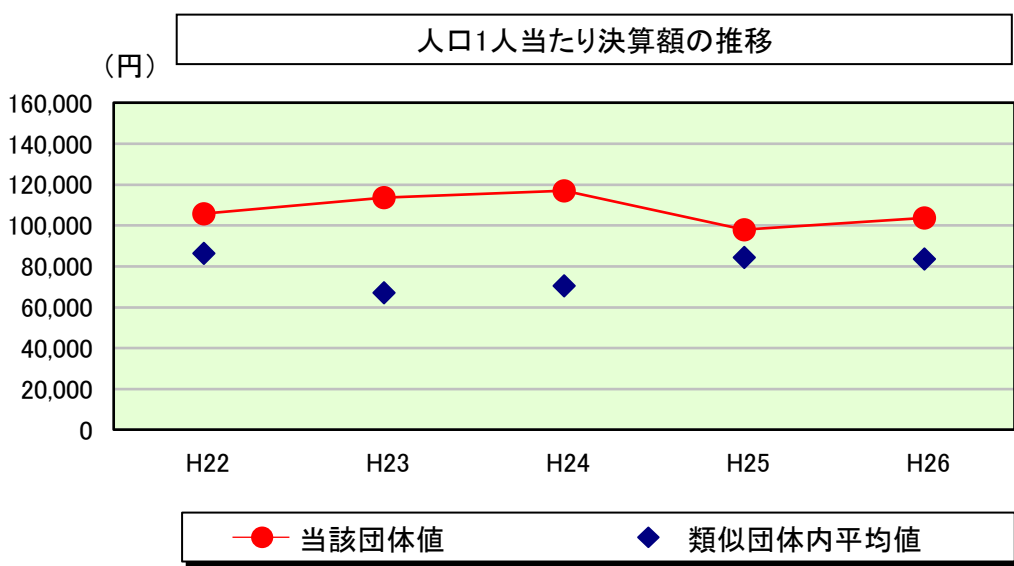


公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	2,412,110	77,895	60,757	28.2
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	12	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	458,447	14,805	18,759	▲ 21.1
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	12,306	397	3,072	▲ 87.1
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	982	32	1,649	▲ 98.1
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	6	-
▲特定財源の額	▲ 35,605	▲ 1,150	▲ 3,997	▲ 71.2
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 2,056,778	▲ 66,421	▲ 56,436	17.7
合計	791,462	25,559	23,822	7.3

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

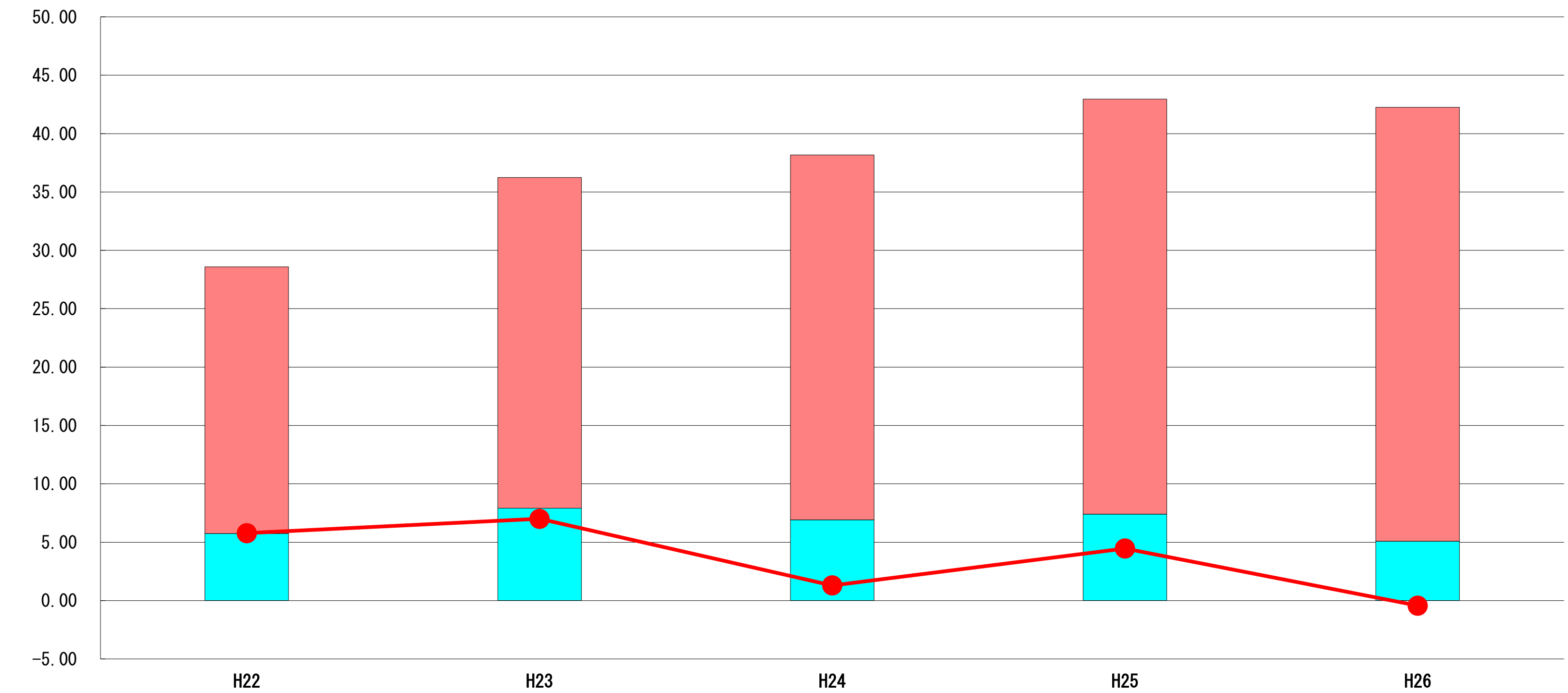
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)
H22	3,427,042	105,734	35.6	86,381	9.3	26.3
うち単独分	1,862,601	57,466	36.8	41,242	▲ 10.4	47.2
H23	3,610,882	113,650	7.5	67,088	▲ 22.3	29.8
うち単独分	2,091,227	65,820	14.5	37,146	▲ 9.9	24.4
H24	3,670,319	116,949	2.9	70,489	5.1	▲ 2.2
うち単独分	1,729,983	55,123	▲ 16.3	37,817	1.8	▲ 18.1
H25	3,053,308	97,919	▲ 16.3	84,389	19.7	▲ 36.0
うち単独分	1,725,178	55,326	0.4	44,339	17.2	▲ 16.8
H26	3,211,110	103,698	5.9	83,623	▲ 0.9	6.8
うち単独分	1,640,545	52,979	▲ 4.2	48,787	10.0	▲ 14.2
過去5年間平均	3,394,532	107,590	7.1	78,394	2.2	4.9
うち単独分	1,809,907	57,343	6.2	41,866	1.7	4.5

(5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

平成26年度

大分県杵築市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

区分	年度	H22	H23	H24	H25	H26
財政調整基金残高		22.86	28.33	31.26	35.55	37.17
実質収支額		5.74	7.91	6.92	7.40	5.09
実質単年度収支		5.77	7.00	1.30	4.46	▲ 0.44

分析欄

財政調整基金残高は、448,961千円の積み立てにより、標準財産規模比が1.62ポイント増加した。

実質収支額は、544,972千円となっており、標準財産規模比が2.31ポイント減少した。

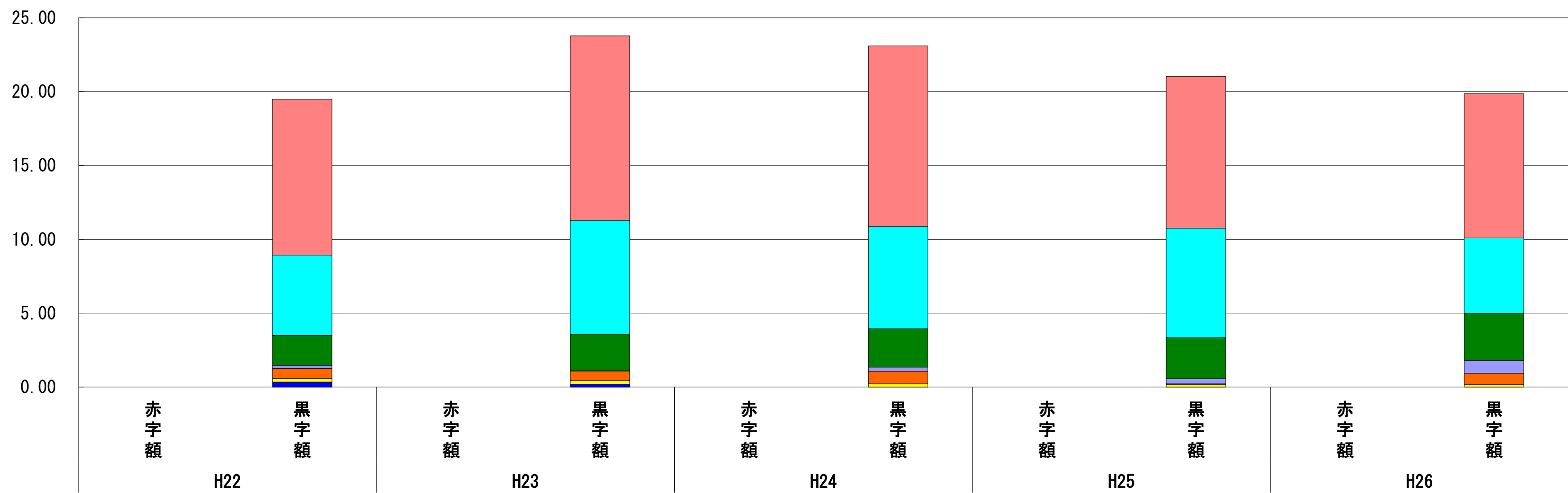
実質単年度収支は、標準財政規模比で25年度から4.9ポイントの減少となった。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成26年度

大分県杵築市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

年度		H22	H23	H24	H25	H26
会計						
山香病院事業会計		10.56	12.48	12.22	10.28	9.78
一般会計		5.42	7.70	6.92	7.40	5.09
水道事業会計		2.04	2.48	2.61	2.78	3.20
介護保険特別会計		0.21	0.02	0.27	0.35	0.87
国民健康保険特別会計		0.68	0.65	0.86	0.03	0.75
工業用水道事業会計		0.24	0.23	0.22	0.19	0.18
簡易水道事業特別会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
後期高齢者医療特別会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.34	0.21	0.00	0.00	0.00

分析欄

22年度以降赤字額を出すこともなく、26年度も黒字を計上することができた。黒字額の大きなものは、山香病院事業会計（1,047,178千円・前年度比△65,985千円）、次いで一般会計（544,972千円・前年度比△255,918千円）となっている。

連結実質赤字比率は、△19.92%となり当面のところ「健全に財政運営できる」と判断できる。

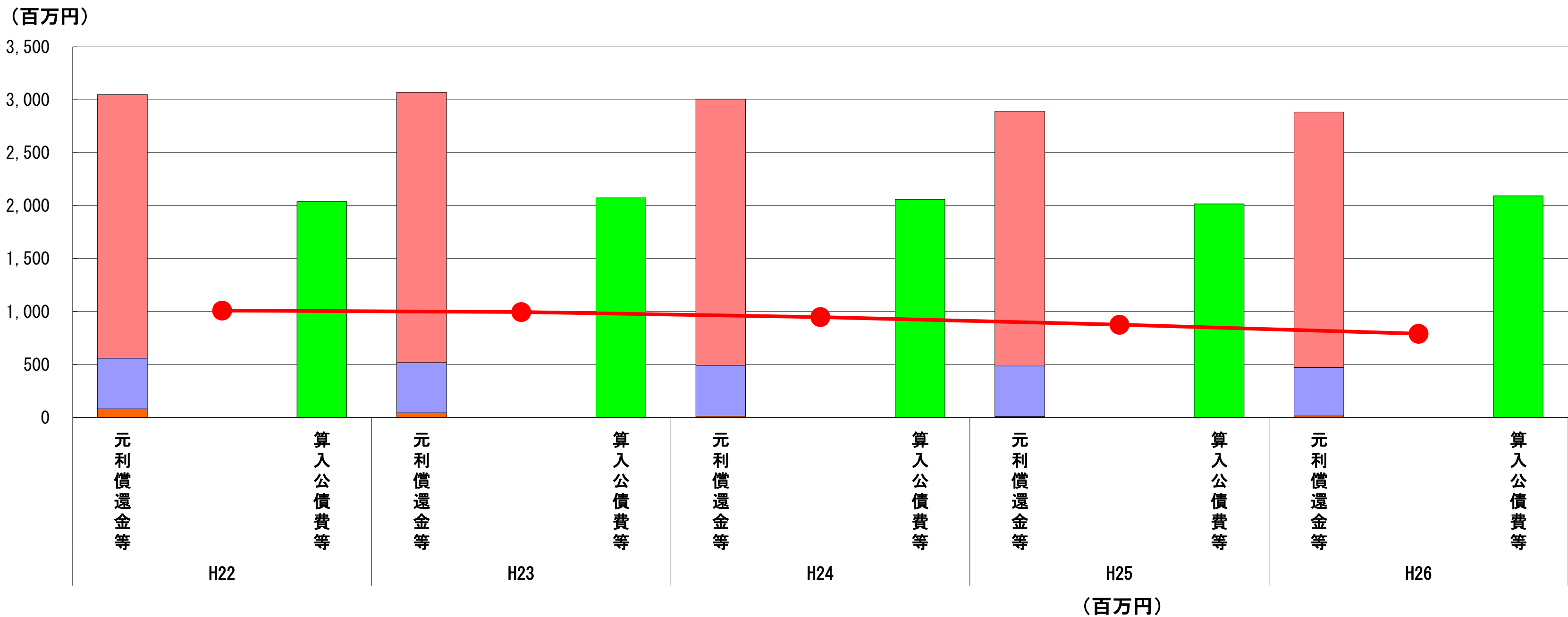
今後、普通交付税を含め一般財源の確保が厳しい状況となる見込みであり、その場合には財政調整基金をはじめとする各種基金の活用による財政運営が求められるため、注視していく必要がある。

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

大分県杵築市



分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
元利償還金等 (A)	元利償還金		2,489	2,551	2,514	2,405	2,412
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		480	474	482	479	458
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		80	45	9	7	12
	債務負担行為に基づく支出額		-	-	2	1	1
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		2,040	2,075	2,059	2,017	2,093
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		1,009	995	948	875	790

分析欄

実質公債費比率は9.9%となり、前年度の10.5%から0.6ポイントの減となった。これは病院事業会計等において、過去の起債の償還終了等により、公営企業債の元利償還金に対する繰入金が前年度より20,697千円の減となったことが大きな要因となった。

今後は、大型事業により地方債現在高は増加すると予測されるため、交付税算入のある有利な起債の活用や新規発行の抑制により、実質公債費比率の上昇につながらないよう対応していきたい。

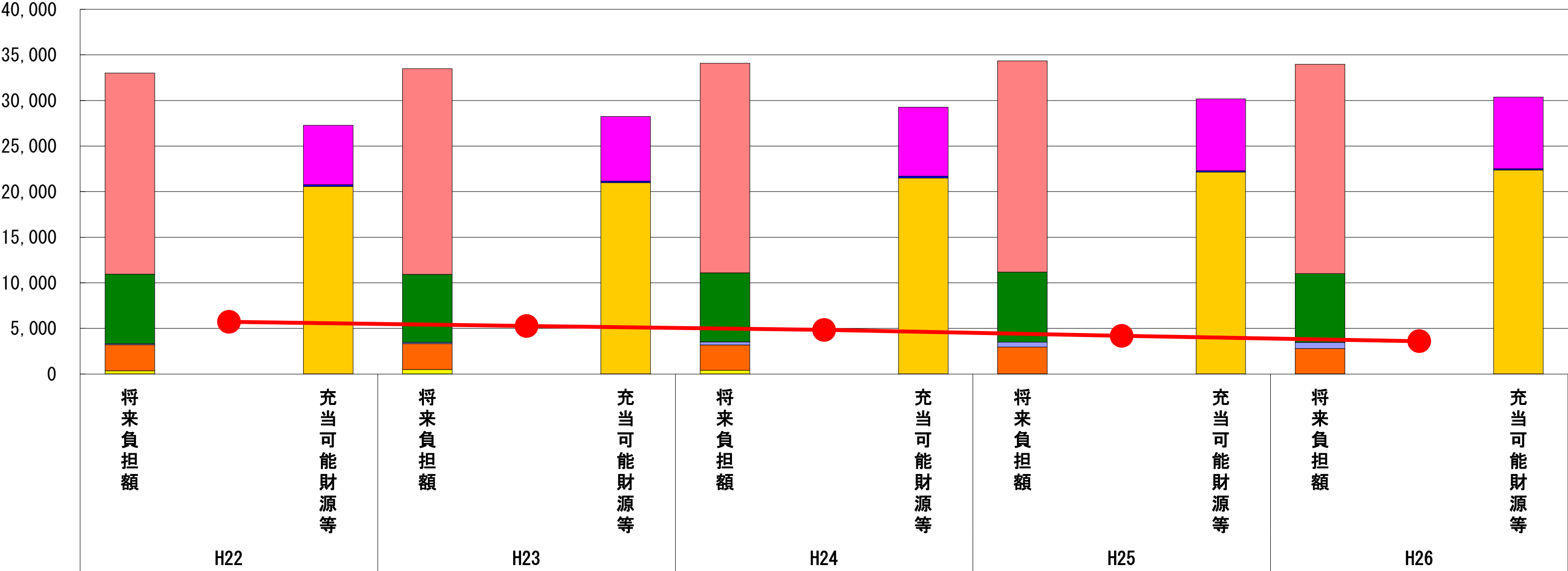
※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

大分県杵築市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		22,060	22,584	23,007	23,183	22,985
	債務負担行為に基づく支出予定額		-	-	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額		7,632	7,460	7,582	7,670	7,522
	組合等負担等見込額		99	141	337	552	685
	退職手当負担見込額		2,866	2,848	2,787	2,908	2,784
	設立法人等の負債額等負担見込額		352	469	388	36	1
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		6,521	7,077	7,588	7,869	7,871
	充当可能特定歳入		199	174	176	154	117
	基準財政需要額算入見込額		20,569	20,991	21,510	22,145	22,388
(A) - (B)		将来負担比率の分子	5,720	5,259	4,826	4,180	3,601

分析欄

将来負担比率は41.6%と早期健全化基準の350%を下回っている。

将来負担額については33,977,002千円となり、前年度より減少している。要因としては、地方債現在高の減少、公営企業債等繰入見込額の減少、退職手当見込額の減少、第三セクター等の負債負担見込額の減少等である。

また、充当可能財源等については、30,376,447千円となり、基準財政需要額算入見込額や充当可能基金が増加したことなどから増加している。

以上のことから、将来負担比率は良好な数値となっているが、今後も基金の積増し及び将来世代への負担軽減が図れるよう財政運営に努める。

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。